

日朝国交正常化をすすめる神奈川県民の会

第10回県民講演会

後援：神奈川県平和運動センター

独自制裁は国交正常化への障害

日本政府は、今なお、朝鮮民主主義人民共和国(以下「朝鮮」という)に対して「日本独自の経済制裁」を続けており、また、在日朝鮮人へも「事実上の制裁」を強制し、その基本的人権を蹂躪し続けています。

朝鮮半島情勢はいま、南北融和と初の朝米首脳会談という平和に向けた劇的な局面を迎えているにも関わらず、日本政府だけが「制裁と圧力」を主張し続けています。

私たちは、日本も朝鮮半島の平和と安定のためにその役割を果たすよう、日本政府に直ちに「独自制裁」を解除して朝鮮との国交正常化のための協議を早期に再開するよう、日本政府に求めていく必要があります。

特に、在日朝鮮人への「事実上の制裁」を一日も早く解除させることは両国が対等の立場で国交正常化の協議を再開するために必要なことです。

朝鮮学校の高校無償化制度からの排除の是非を問う裁判で奮闘している李春熙弁護士に「独自制裁」の実態について話していただきます。

2018

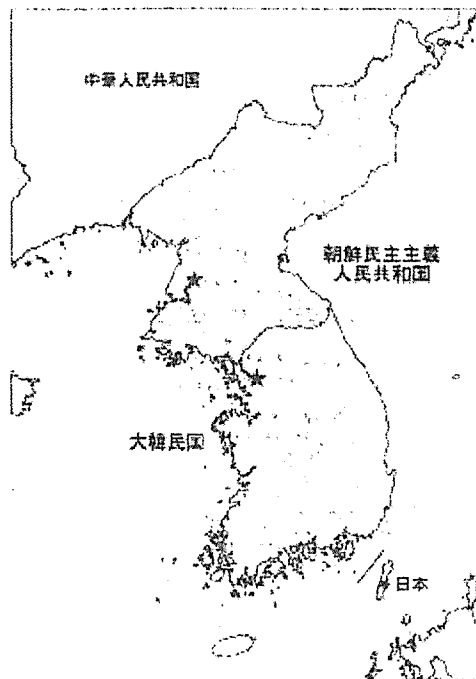
6 / 22 FRI 金

18時開場

午後6時10分～8時30分

神奈川県民センター301号

<資料代：500円>



「独自制裁」廃止！で平和を創る 「日本の独自制裁」と在日朝鮮人

—日朝国交正常化交渉の再開をもとめて—

講師

リ・チュニ
李春熙

弁護士

プロフィール：1979年生まれ 弁護士
共著に「誰が<表現の自由を>殺すのか」
(お茶ノ水書房)、「<自粛社会>をのりこえる」(岩波ブックレット)「ヘイトスピーチはどこまで規制出来るか」(影書房)、論考に「経済制裁と在日朝鮮人」(雑誌「世界」2018・5)など

連絡先：090-8818-1431